

財政状況等一覧表（平成18年度）

(百万円)

団体名 京都市城陽市

標準財政規模 (A)	臨時財政対策 債発行可能額 (B)	合計 (A)+(B)
13,082	795	13,877

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの）

(百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの 繰入金	備考
一般会計	22,969	22,589	381	152	30,382	-	基金から 1,516百万円繰入 財産区から 2百万円繰入
寺田財産区特別会計	49	47	2	2	-	-	
普通会計	22,982	22,601	381	152	30,382	-	基金から 1,516百万円繰入 財産区から 2百万円繰入

2 1以外の特別会計の財政状況（公営企業を含む公営事業会計に係るもの）

(百万円、%)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	<法適用以外> 形式収支	純損益 (実質収支)	企業債(地方債) 現在高	他会計からの 繰入金	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
水道事業会計	1,471	1,399	-	72	4,323	11	105.2	-	-	法適用企業
公共下水道事業特別会計	(歳入) 3,843	(歳出) 3,843	-	(実質収支) -	30,738	918	-	-	-	
国民健康保険事業特別会計	(歳入) 6,875	(歳出) 6,873	2	(実質収支) 2	-	362	-	-	-	基金から 63百万円繰入
老人保健特別会計	(歳入) 5,812	(歳出) 5,914	102	(実質収支) 102	-	438	-	-	-	
介護保険事業特別会計	(歳入) 3,289	(歳出) 3,098	191	(実質収支) 190	-	433	-	-	-	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
2. 法適用企業に係るもの以外のものについては、「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「実質収支」を表示している。
3. 不良債務及び累積欠損金は、正数で表示している。

3 関係する一部事務組合等の財政状況

(百万円、%)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	<法適用以外> 形式収支	実質収支 (純損益)	地方債(企業債) 現在高	当該団体の 負担金割合	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
城南衛生管理組合	5,244	5,187	57	57	8,440	23.5	-	-	-	
淀川・木津川水防事務組合	11	9	2	2	-	22.9	-	-	-	
京都府自治会館管理組合	140	138	2	2	-	-	-	-	-	
京都府後期高齢者医療広域連合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(百万円)

	経常損益	資本又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体から の債務保証に 係る債務残高	当該団体から の損失補償に 係る債務残高	備考
(財)城陽市民余暇活動センター	11	175	30	149	-	-	-	
(株)サンガタウン城陽	2	98	40	-	5	-	-	
城南土地開発公社	9	87	1	-	-	-	2,522	
(財)城陽山砂利採取地整備公社	17	124	13	-	-	-	-	

- (注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

5 財政指数

財政力指数	0.673	実質収支比率	1.2%
実質公債費比率	17.2%	経常収支比率	97.8%

- (注) 実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3カ年平均である。